

# Shibaura Machine

View the Future with You

## 株主の皆さまへ 第100期中間報告書

(2022年4月1日から2022年9月30日まで)

### 芝浦機械株式会社

証券コード：6104

# 株主の皆さまへ



取締役社長  
坂元 繁友

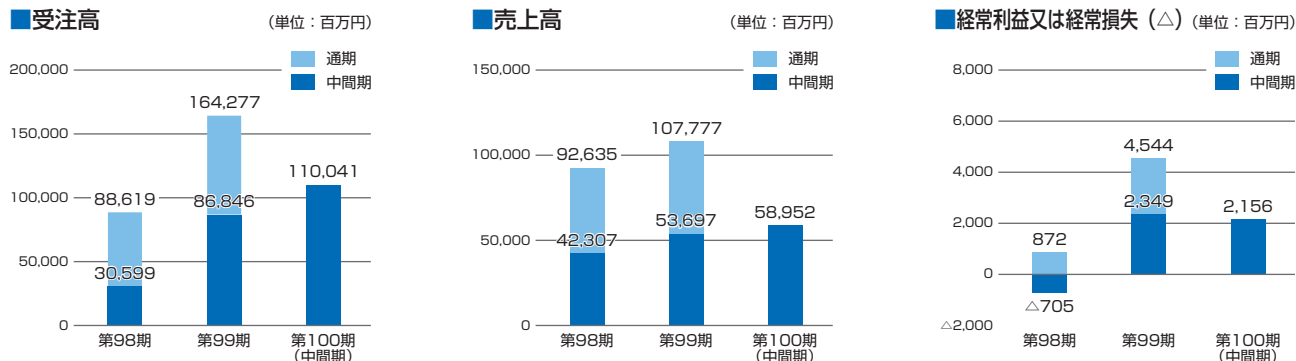
株主の皆さまには、平素よりご高配を賜わり、心よりお礼申し上げます。  
ここに、株主の皆さまへ（第100期中間報告書）をお届けするにあたりまして、ひと言ごあいさつ申し上げます。

## 当第2四半期の状況と業績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国において経済活動の停滞が見られたことや、米国においてインフレや金融引き締めの影響を受け景気減速リスクが高まるなど景気回復ペースが鈍化しました。また、新型コロナウイルス感染症、中国におけるロックダウン、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響により、部材需給逼迫やエネルギー価格高騰などさらなるサプライチェーンの混乱が生じており、先行き不透明な状況が続いております。わが国経済は生産、設備投資に持ち直しの動きが見られましたが、サプライチェーンの混乱や急激な円安などの影響を受けました。

当社グループを取り巻く経済環境は、中国におけるロックダウンの影響を受けたものの、前連結会計年度より引き続き設備投資需要が回復基調で推移しました。また、世界的に脱炭素化などの社会課題解決に向けた動きが加速していることを背景として、EV、再生可能エネルギー、労働生産性向上などに関連した需要の拡大が見られます。このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画である「経営改革プラン」に基づき、高収益企業への変革に向けて、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率（ROE）の向上を目指した財務戦略の実行に取り組みとともに、社会課題を解決する高付加価値商品の創出と高効率な生産の実現に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しています。成長分野に対応した投資においては、市場規模が拡大している超精密加工機、脱炭素化を背景としたEV需要の高まりにより受注が急拡大しているリチウムイオン電池向けセバ

## 業績ハイライト



レータフィルム製造装置の増産体制構築を進めました。また、成長市場であるインドにおいて当社インド工場の射出成形機の生産能力増強のため新工場の増設を進めています。

当第2四半期連結累計期間の受注高は1,100億4千1百万円（前年同期比26.7%増）、売上高は589億5千2百万円（前年同期比9.8%増）となりました。損益については、営業利益は16億7千万円（前年同期比29.7%減）、経常利益は21億5千6百万円（前年同期比8.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億4千7百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

## 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行なった結果、2022年5月26日公表の予想を修正いたしました。詳細は、2022年11月9日に公表いたしました「2023年3月期第2四半期（累計）連結業績予想値と実績値の差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

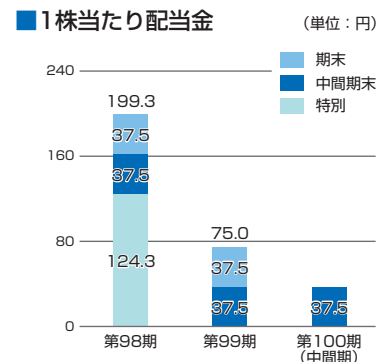
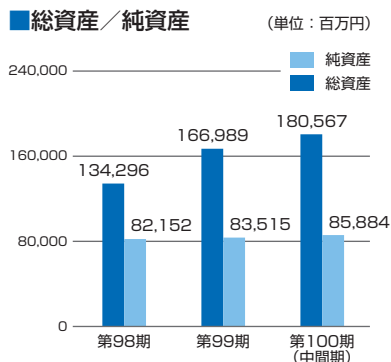
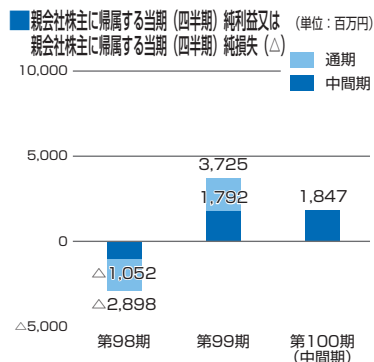
## 配当について

当社は、収益性の向上に向けて経営体制の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。利益剰余金については、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

当期中間配当金については、1株当たり37.5円とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、何卒いっそうのご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年12月



# 事業別の概況

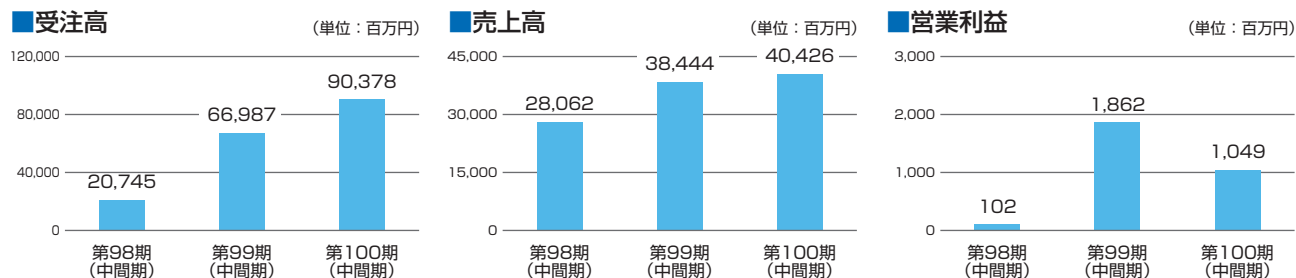
## 成形機事業【射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など】

射出成形機においては、販売および受注はロックダウンの影響により中国で減少したものの、脱炭素化の動きを背景に北米の中大型電動機が増加したことに加え、経済活動が活発化しているインドで油圧機が増加しました。

ダイカストマシンにおいては、販売は国内、東南アジアにおける自動車向けが増加しました。受注は国内、韓国、北米で自動車向けを中心とした設備投資需要が回復したことにより、増加しました。

押出成形機においては、販売は中国におけるリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置が増加したものの、台湾、韓国における光学用シート・フィルム製造装置が減少しました。受注はEV関連の設備投資需要の拡大に伴い、中国におけるリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置が増加しました。

この結果、成形機事業全体の受注高は903億7千8百万円（前年同期比34.9%増）、売上高は404億2千6百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は10億4千9百万円（前年同期比43.7%減）となりました。

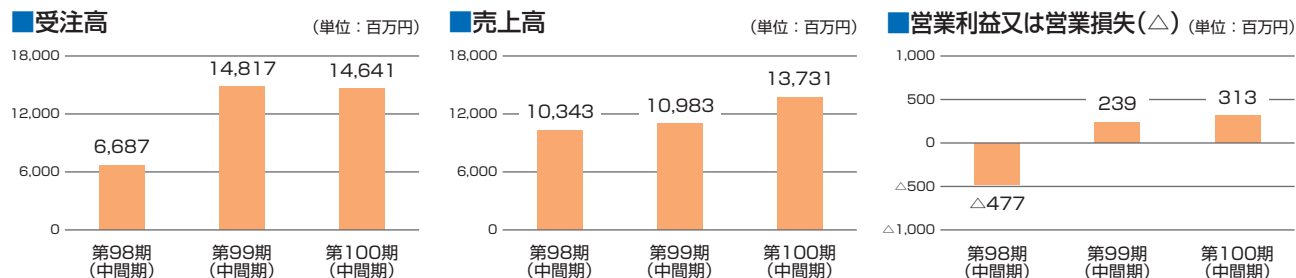


## 工作機械事業【工作機械（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤など）、超精密加工機など】

工作機械においては、販売は国内における産業機械向けおよび北米におけるエネルギー向けが増加しました。受注は北米におけるエネルギー向けおよび中国における風力発電向けが増加しました。

超精密加工機においては、販売は国内、中国における光学系金型向けが減少しました。受注は光学系金型向けが国内で増加したものの中国で減少しました。

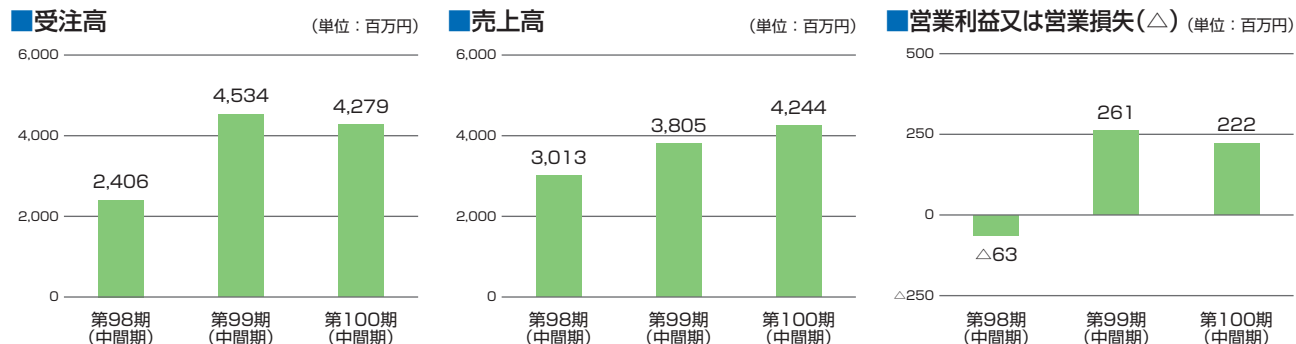
この結果、工作機械事業全体の受注高は146億4千1百万円（前年同期比1.2%減）、売上高は137億3千1百万円（前年同期比25.0%増）、営業利益は3億1千3百万円（前年同期比30.5%増）となりました。



## 制御機械事業 [産業用ロボット、電子制御装置など]

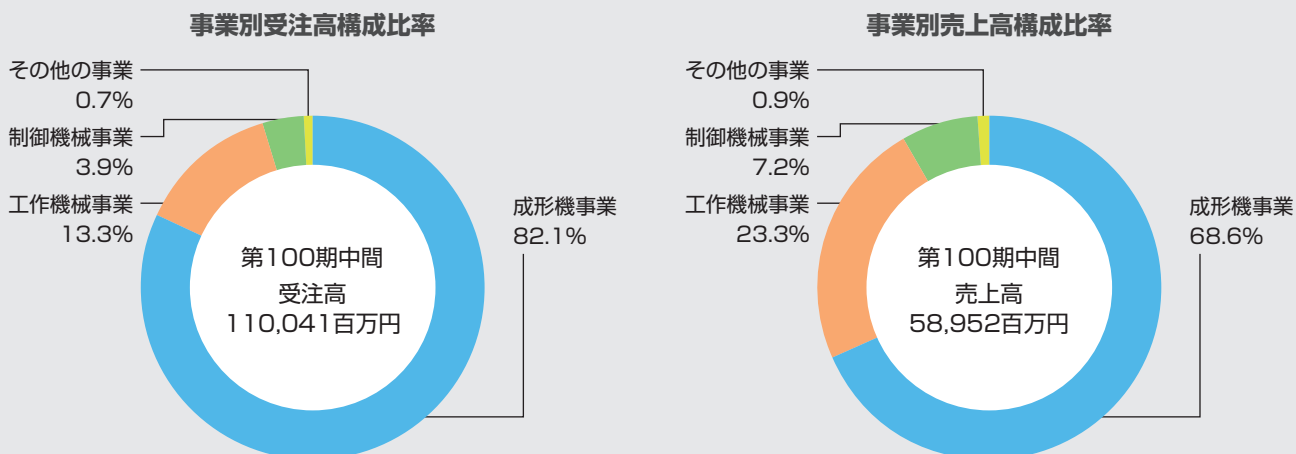
制御機械においては、販売は国内におけるシステムエンジニアリングおよび電子制御装置が増加しました。受注は国内における電子制御装置が減少しました。

この結果、制御機械事業全体の受注高は42億7千9百万円（前年同期比5.6%減）、売上高は42億4千4百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は2億2千2百万円（前年同期比14.8%減）となりました。



## その他の事業

その他の事業全体の受注高は7億4千2百万円（前年同期比46.4%増）、売上高は5億4千9百万円（前年同期比18.7%増）、営業利益は6千6百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。



# 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第100期中間期 (2022年9月30日現在)	第99期 (2022年3月31日現在)	科 目	第100期中間期 (2022年9月30日現在)	第99期 (2022年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
<b>流 動 資 産</b>	<b>148,452</b>	<b>134,461</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>85,644</b>	<b>70,766</b>
現金及び預金	48,496	51,710	支払手形及び買掛金	29,294	23,729
受取手形、売掛金及び契約資産	24,207	23,613	短期借入金	14,006	10,917
商品及び製品	26,810	23,000	リース債務	82	94
仕掛品	37,869	28,541	未払法人税等	406	465
原材料及び貯蔵品	42	65	未払費用	2,690	2,248
その他の流動資産	11,074	7,566	契約負債	34,658	28,887
貸倒引当金	△ 48	△ 37	賞与引当金	1,873	1,894
<b>固 定 資 産</b>	<b>32,115</b>	<b>32,528</b>	製品保証引当金	843	618
<b>有形固定資産</b>	<b>21,245</b>	<b>21,146</b>	その他の流動負債	1,788	1,909
建物及び構築物	9,699	9,581	<b>固 定 負 債</b>	<b>9,038</b>	<b>12,707</b>
機械装置及び運搬具	3,186	2,878	長期借入金	-	3,300
土地	7,238	7,142	リース債務	204	142
リース資産	275	224	長期未払金	5	5
建設仮勘定	321	842	繰延税金負債	8	440
その他の有形固定資産	525	477	役員退職慰労引当金	42	63
<b>無形固定資産</b>	<b>891</b>	<b>843</b>	退職給付に係る負債	8,376	8,354
その他の無形固定資産	891	843	資産除去債務	385	384
<b>投資その他の資産</b>	<b>9,978</b>	<b>10,538</b>	その他の固定負債	15	16
投資有価証券	7,927	8,686	<b>負 債 合 計</b>	<b>94,682</b>	<b>83,474</b>
出資金	298	493	<b>純資産の部</b>		
長期貸付金	4	5	<b>株 主 資 本</b>	<b>77,039</b>	<b>76,075</b>
繰延税金資産	897	565	資本金	12,484	12,484
その他の投資	2,294	2,224	資本剰余金	11,538	11,538
貸倒引当金	△ 1,444	△ 1,436	利益剰余金	69,315	68,374
<b>資 産 合 計</b>	<b>180,567</b>	<b>166,989</b>	自己株式	△ 16,299	△ 16,322
			<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>8,845</b>	<b>7,440</b>
			その他有価証券評価差額金	3,818	4,350
			為替換算調整勘定	5,238	3,348
			退職給付に係る調整累計額	△ 212	△ 259
			<b>純 資 産 合 計</b>	<b>85,884</b>	<b>83,515</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>180,567</b>	<b>166,989</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第100期中間期	第99期中間期
	(2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	(2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売 上 高	58,952	53,697
売 上 原 価	40,799	38,162
売 上 総 利 益	18,152	15,535
販売費及び一般管理費	16,481	13,157
営 業 利 益	1,670	2,377
営 業 外 収 益	840	533
営 業 外 費 用	355	560
経 常 利 益	2,156	2,349
特 別 利 益	1	13
特 別 損 失	203	18
税金等調整前四半期純利益	1,954	2,345
法人税、住民税及び事業税	598	341
法 人 税 等 調 整 額	△ 492	210
四 半 期 純 利 益	1,847	1,792
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,847	1,792

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第100期中間期	第99期中間期
	(2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	(2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,106	6,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,583	△ 875
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,201	△ 1,198
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,676	36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 3,214	4,656
現金及び現金同等物の期首残高	51,710	42,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,496	47,074

## 連結財務諸表のポイント

### 資 産

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ135億7千7百万円増加し、1,805億6千7百万円となりました。増加の主な内訳は、商品及び製品が38億9百万円、仕掛品が93億2千8百万円増加したこと等によります。

### 負 債

負債は、前連結会計年度末に比べ112億8百万円増加し、946億8千2百万円となりました。増加の主な内訳は、支払手形及び買掛金が55億6千4百万円、契約負債が57億7千万円増加したこと等によります。

### 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ23億6千9百万円増加し、858億8千4百万円となりました。増加の主な内訳は、為替換算調整勘定が18億8千9百万円増加したこと等によります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は47.6%となりました。

### キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ14億2千1百万円増加し、484億9千6百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、21億6千3百万円の減少になりました（前年同四半期連結累計期間は66億9千3百万円の増加）。これは主として、仕入債務の増加による収入が55億4千3百万円、契約負債の増加による収入57億5千1百万円があったものの、棚卸資産の増加による支出131億1千4百万円等があったことによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、15億8千3百万円の減少になりました（前年同四半期連結累計期間は8億7千5百万円の減少）。これは主として、有形固定資産の取得による支出13億3百万円等があったことによります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、12億1百万円の減少になりました（前年同四半期連結累計期間は11億9千8百万円の減少）。これは主として、長期借入金の返済による支出2億5千万円、配当金の支払額9億5百万円等があったことによります。



## ▶ 社会課題解決に貢献する一例

当社は、「社会基盤を支える製品を製造する機械」を世に送り出し、社会の発展と人々の豊かな暮らしの実現に貢献しています。当社は主に成形機事業、工作機械事業、制御機械事業などの様々な事業を展開していますが、工作機械事業の商品の一つであります、超精密加工機を紹介します。

### ● 当社の超精密加工機とは

工作機械の一種であり、光学系や医療系などナノメートルレベルの超高精度加工が必要な部品の切削・研削などの加工に適した機械装置です。

芝浦機械には世界最高精度を誇る超精密加工機があります。ナノメートル単位でモノを動かすための制御技術・製造技術が組み込まれており、「0.1ナノメートル（1mの100億分の1）を制御して動かす」ことができる機械です。例えるなら原子1粒分を動かすほど高精度です。

### ● 超精密加工技術で情報化社会の発展に貢献しています

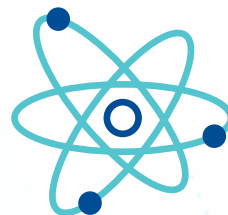
例えば、高機能化・高解像度化が進むスマートフォンのカメラや安全性の向上・知能化が進む自動車のセンサーやヘッドライトには、様々な形状の高精度レンズが使用されています。これらの高精度レンズそのものや、それらを成形製造するための金型を製造・加工するために超精密加工技術が使用されており、高精度化・高機能化・高解像度化などの市場のニーズに応える超精密加工機は、私たちの生活をスピーディーで豊かに、より便利に変えていく情報化社会の発展を支えるために必要不可欠なものです。

### ● 市場規模の拡大と今後の当社の取り組み

パソコン・スマートフォンなどのデジタルデバイスの普及拡大、車載カメラ、事故防止や自動運転機能の充実、AR・VRなどの仮想空間との融合、高度医療の適用など超精密加工機の需要はますます広がっています。

この成長市場に対応するため、当社御殿場工場における新組立ラインを2022年6月から稼働し増産体制を構築、販売の拡大を目指します。今後も最先端市場の更なる発展に貢献していきます。

0.1ナノメートルを制御して動かす精度



原子1粒分を動かすほど高精度



詳細につきましては「統合報告書2022」をご覧ください。

<https://www.shibaura-machine.co.jp/jp/ir/library/report/>



● 当社の超精密加工機と貢献市場



AR・VR



車載カメラ



光デバイス  
光コンポーネント

貢献市場



メディカル



超精密非球面・自由  
曲面加工機



高精度スライサー



Autonomous Car  
Remote Sensing System

自動運転 (LiDar)

当社の  
超精密加工機



スマートフォン  
デジタルデバイス



超精密  
マシニングセンタ



高精度光学ガラス  
素子成形装置

ミラーレス一眼カメラ



自動車照明

今後も最先端市場の更なる発展に貢献していきます。

# グローバルネットワーク (2022年9月30日現在)

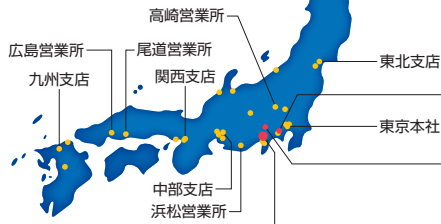


本社  
製造拠点  
販売・サービス拠点

● 東京本社、● 沼津本社  
● 工場 沼津、相模、御殿場  
● 28拠点  
(主な拠点) 東京、沼津、東北、中部、関西、九州、高崎、浜松、広島、尾道



沼津本社  
沼津工場



相模工場



御殿場工場



製造拠点  
販売・サービス拠点

● 工場 中国、インド、タイ  
● 43拠点  
東アジア 9拠点  
東南アジア 26拠点 (インド20拠点含む)  
北米・中南米 7拠点  
欧州 1拠点

中国工場  
SHIBAURA MACHINE  
(SHANGHAI) CO., LTD.



インド工場  
SHIBAURA MACHINE  
INDIA PRIVATE LIMITED



タイ工場  
SHIBAURA MACHINE MANUFACTURING  
(THAILAND) CO., LTD.



# 会社の概況／株式の状況 (2022年9月30日現在)

## 会社の概況

- ① 所在地  
東京都千代田区内幸町二丁目2番2号
- ② 創業  
1938年(昭和13年)12月
- ③ 設立  
1949年(昭和24年)3月
- ④ 資本金  
124億8千4百万円
- ⑤ 従業員数  
連結：3,060名(前期末比11名増)  
単独：1,692名(前期末比28名増)
- ⑥ 役員(2022年12月1日現在)
- |              |      |
|--------------|------|
| 代表取締役会長      | 飯村幸生 |
| 代表取締役社長      |      |
| 最高経営責任者      | 坂元繁友 |
| 最高執行責任者      |      |
| 社長執行役員       |      |
| 取締役役員        | 小林昭美 |
| 専務執行役員       |      |
| 取締役役員        | 大田浩昭 |
| 最高財務責任者      |      |
| 専務執行役員       |      |
| 社外取締役        | 佐藤潔  |
| 社外取締役        | 岩崎清悟 |
| 社外取締役        | 井上弘峰 |
| 社外取締役        | 寺脇一知 |
| 社外取締役        | 早川知佐 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 高橋宏  |
| 社外取締役(監査等委員) | 宇佐美豊 |
| 社外取締役(監査等委員) | 今村昭文 |

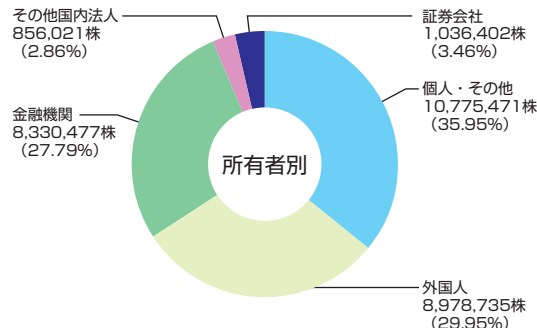
## 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 72,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 29,977,106株  
(自己株式5,814,448株を含む)
- (3) 株主数 10,984名  
(前期末比287名増)
- (4) 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,112千株	17.02%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,832	7.58
MSIP CLIENT SECURITIES	1,075	4.45
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	980	4.06
株式会社静岡銀行	596	2.47
芝浦機械従業員持株会	561	2.32
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	559	2.32
BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	552	2.29
株式会社三井住友銀行	536	2.22
芝浦機械取引先持株会	491	2.03

- (注) 1. 当社は、自己株式を5,814,448株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
3. 当社は、2022年11月9日付の取締役会決議に基づき、2022年11月24日付で3,000,000株(消却前の発行済株式総数に対する割合：10.0%)の自己株式を消却いたしました。

## (5) 株式の分布状況



(注) 自己株式を含みます。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告方法	電子公告 <a href="https://www.shibaura-machine.co.jp">https://www.shibaura-machine.co.jp</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行なっております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

芝浦機械株式会社ホームページ  
<https://www.shibaura-machine.co.jp>



## 株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

会社法改正により、2022年9月1日に株主総会資料の電子提供制度が施行されました。この制度においては、「インターネットの利用が困難であるなどの株主様の事情に配慮して、「書面交付請求」の手続きも設けられています。

当社では、2023年3月以降に開催する株主総会から、株主総会資料を当社ウェブサイト等に掲載させていただきます。

**2023年6月定時株主総会**については、株主総会資料の書面での受領を希望される株主さまは、**2023年3月末日までに「書面交付請求」**をしていただく必要がございます。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

芝浦機械株式を保有されている口座がある証券会社  
または三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-533-600 (フリーダイヤル)  
9:00~17:00 (土・日・休日を除く)



<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>

### 株主さま向け アンケート

## よりよいIR活動のために 皆さまの声を お聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

- ①下記URLにアクセス
- ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……



検索窓から



[kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp) ←こちらへ空メールを送信  
[件名]「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を呈呈させていただきます

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

<https://www.link-cc.co.jp>

●アンケートのお問い合わせ | e-株主リサーチ事務局 |  
MAIL: [info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com)